



問 带状疱疹ワクチンの接種費用の助成を！

答 国の接種費用に係る助成制度の創設と定期接種化を要望する

带状疱疹の発症率は、50歳を境に急激に上昇し、80歳までに約3人に1人が罹患すると言われている。2016年に厚生労働省より带状疱疹ワクチンは「50歳以上の者に対する带状疱疹の予防」に効果効能があると承認されたが。

带状疱疹ワクチン

	生ワクチン	不活化ワクチン
接種回数	1回	2回
接種方法	皮下注射	筋肉注射
費用	8,000円程度	1回 22,000円程度

問 ワクチン接種にかかる費用は高額になり、町民の健康を守るという観点から接種費用の助成をすべきと考えるが。

健康福祉課長 ワクチンを接種することで、带状疱疹にかかりにくくなること、かかった場合も重症化の予防、また、带状疱疹後神経痛になりにくく

なるなどの効果もあると報告されており、ワクチンとしての一定の有効性について認識しています。しかし、国において「定期接種」に向けた議論が行われていることから、県に対して、他の市町村と歩調を合わせ、国における带状疱疹ワクチン接種に係る助成制度の創設と予防接種法に基づく定期接種化を働きかけていきます。

問 視覚障がい者のための音声コードの普及を！

答 庁内各課と調整し、活用に向けて検討

障がいのある全ての方が、障がいの有無によって分け隔てられることのない社会をめざし、障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法が2022年5月に施行された。ところが、今でも視覚障がいのある方にとっては、情報の取得や利用に多くの苦勞がある。

「音声コード」というのは、紙媒体に掲載された印刷情報をデジタル情報に変える二次元のバーコードで、紙媒体の端に「切り欠き」と呼ばれる半円の穴が付いているため、そこを指で触れば音声コードの場所が分かり、そのコード

をスマートフォンの専用アプリで読み取ることで、音声で聞くことができる。

問 町民に送付される公的な通知について、この「音声コード」の記載を早急に進めるべきと考えるが。

健康福祉課長 音声コードは、全ての障害者が等しく情報を取得する上で極めて重要であり、その必要性に関しては十分認識しています。本町においても、無償提供されている音声コード作成ソフトを早急に取得し、各課と調整しつつ、活用に向け検討していきます。



音声コードをスマートフォン等にかざすことで、文字情報を音声で読み上げます。